

栃木県立盲学校教諭 市田敬一先生との対談①

—盲学校の教育とは—

開倫塾

塾長 林 明夫

林 : おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

今日はスペシャルゲストをお招きし、皆さんと一緒に勉強させていただきたいと思います。ゲストは、栃木県立盲学校教諭の市田敬一先生です。市田先生、よろしくお願ひいたします。

市田 : よろしくお願ひいたします。

林 : 市田先生は、現役による社会人研修で、今年4月から開倫塾にお見えになっている方ですので、先生からいろいろなことを教えていただきたいと思います。まず、栃木県立盲学校はどんな学校なのか教えていただけますか。

市田 : はい、わかりました。栃木県立盲学校は、宇都宮市福岡町の古賀志山の近くにあります。生徒数は42名で非常に少ないですが、幼稚部・小学部・中学部・高等部があり、下は5歳から社会に一度出て目が見えなくなって来られた60歳の方まで学んでいます。

林 : 先生や事務、スタッフの方は何名ぐらいいらっしゃるのですか。

市田 : 寄宿舍もありますので、その先生方を加えると80名近くになります。

林 : 寄宿をしながら勉強をなさっている方もおられるのですね。

市田 : はい、そうです。盲学校は栃木県に1校しかありませんので、遠方から通わなければならない方もいます。その方々は寄宿舍に入り、そこから通学しています。

林 : 小学生や中学生はどんな勉強をなさるのですか。

市田 : 基本的には普通の学校と同じ勉強をします。準ずる教育ということで、一般の学校と同じ国社数理英、その他に体育、音楽、美術などを勉強します。ただ、目が見えないために、文字が読めなかったり書けなかったりしますので、点字という文字を指導しています。また、目が悪いと歩行が危ないですから、白杖という杖を使って歩く指導なども行っています。

林 : そういう方々はお一人お一人の状況が異なるでしょうから、丁寧にご指導なさっているのですね。

市田 : そうですね。少ないと1学級1人、多くても1学級3、4人です。白杖歩行などは、一人ずつ指導しています。

林 : 高等学校はどうですか。

市田 : 高等部には、大学進学を目指す生徒さんもいますし、就職することや公務員を目指す生徒さんもいます。大学進学を目指す場合はそれに見合った学習内容を指導し、プラスしてやはり

点字や白杖歩行は高校卒業まで毎年指導します。

林：市田先生は、学校ではどのような指導をなさっているのですか。

市田：私は主に高等部の中でも専攻科という職業教育を担当しています。高校を一度卒業した生徒さんもしくは社会に一度出て目が見えなくなってしまった生徒さんを対象に、あんま・マッサージ・鍼・灸などを指導しています。

林：その年数は、1、2年ぐらいですか。

市田：3年です。

林：栃木県立盲学校には、学校行事などもありますか。

市田：はい。学校行事としては、普通の学校と同じように運動会、文化祭、持久走大会、スポーツ大会などがあります。盲学校特有の行事としては、点字競技会といって、点字の読みや書きを競い、そのレベルに応じて級などが与えられる行事もあります。

林：素晴らしいですね。私も市田先生に名刺を作っていただきました。ありがとうございます。1枚作るのにどのくらいの時間がかかりますか。

市田：点字を打つのが速い方は、1分ぐらいでできます。私は途中で目が見えなくなってしまったので、1枚作るのに2、3分かかってしまいます。

林：栃木県立盲学校は、これからどのような学校になればよいと思いますか。

市田：これからは児童・生徒数がどんどん減少していく状況です。ですから、これから社会に出て活躍するときに、ITや社会貢献活動など、目が見えなくても従事することができる企業に求められるような人材をできるだけ多く育成していきたいと思います。目が見えないからこそわかること・できることがありますので、そういったことを磨いていきたいと思っています。

林：公務員になる、民間企業に勤める、自分で開業するなど、皆さんには様々な形で活躍していただければと思います。ところで、皆さんはスマホやパソコンなどをお使いになりますか。

市田：そうですね。今はスマホでいえばiPhoneなどには標準装備で音声ガイドがついていますので、目が見えなくても自分で操作することができます。また、最近は技術の進歩が激しいので、写真などを「これはこのような写真です」と読み上げてくれます。今までは漢字なども苦手な部分だったのですが、今は「これはこういう漢字ですよ」と説明してくれるので、間違いなく普通に文章を作ることができます。それらの技術の進歩には助かっています。

林：そうですね。皆さんにはどんどん活躍していただければと思います。今日は、ゲストに栃木県立盲学校教諭の市田敬一先生をお招きし、盲学校の教育や今後についてのお話をお聞きしました。市田先生、ありがとうございました。

市田：ありがとうございました。